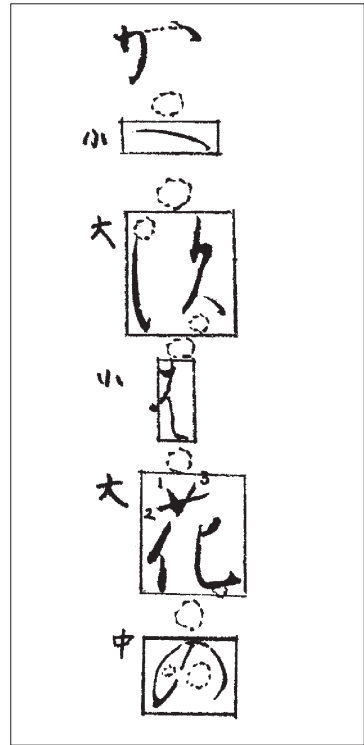


◆半紙一行たて書きに臨書して下さい。出品料430円

元永本古今集(395)



- 1、字句Ⅱ「かへ須者花の」
- 2、形式Ⅱ半紙をたてにし、中央に一行で臨書する。落款は、左余白に「○○臨」と本文に添う大ききで書き入れる。
○一文字一文字がほぼ等間隔に空間をとっているところ
○大・小をつけた文字の布置
ここでは、行のうねりや連綿を使うことで生ずる変化がない代わりに、極端とも言える文字の大・小により、みごとな変化と、文字と文字との響き合いを見せています。
- 3、概観Ⅱ元永本古今集の特徴である「放ち書き」の二回目です。今回は次の二点を学びましょう。
○一文字一文字がほぼ等間隔に空間をとっているところ
○大・小をつけた文字の布置
ここでは、行のうねりや連綿を使うことで生ずる変化がない代わりに、極端とも言える文字の大・小により、みごとな変化と、文字と文字との響き合いを見せています。
- 4、学習のポイント：放ち書きへその二
「か」側筆で入筆し、曲がりのあと軸を立てるようにし、長目にたてを引く。二筆目の位置と長さに注意する。三筆目は高い位置に長目に引く。
「へ」静かに入筆し静かに抜いて次の文字へ向かう。「へ」と、山の形にせず、なだらかな横の線を引くようにする。
「須」静かに入筆し、筆圧をかけながらたてに引き、鋒先をまとめて二筆目に移る。「ケ」は「ら」と「ケ」と二筆で書く。
「者」一筆目を側筆で短くすくい上げるように運筆する。•で短く戻るように引いたあと、すぐ下に引く。
「花」漢字としての「花」である。かなと調和すること。くさかんむりの筆順に注意する。四筆目、六筆目は筆圧をかける。七筆目の最後は、筆圧をかけてゆっくりと連筆する。
「の」直筆で筆圧を一定にして引く。左右の空間の広さに注意する。はらいは短目に。

(七月二十二日締切)

半紙課題(予告)

平岡華雪先生書

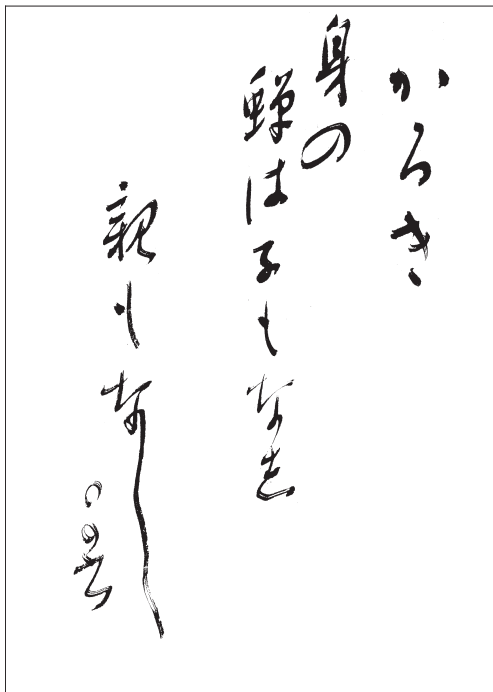
人生意に適うを貴ぶ(張起岩)



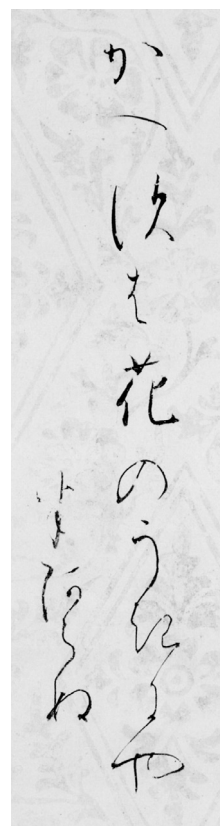
訳：人生は思いのままに過ごすのが一番いい。

平岡華雪先生書

かるき身の蟬は子もなし親もなし(猿雖)



元永本古今集



条幅随意部として

『かへ須者^す花^はのう起^きルや半阿^はらぬ』

と、半切に二行の臨書とする。落款は二行目に「○○臨」と、全体の調和を考えて入れる。

※随意部参考（半紙・条幅）としてもご利用下さい。抜粋可。

随意部半紙は無料。随意部条幅は一枚目無料、二枚目から五四〇円。

一字書（六月二十二日締切）

課題

- (1) 書体自由
- (2) 半紙タテ ※ヨコは中止
- (3) 落款は余白に調和を工夫し書き入れる
- (4) 出品料 四三〇円
- (5) バーコード券貼付 太枠内の臨昇の隣の空欄に一字と記入 段級は無記入

道

第14回 柏門会書道展

3月18日～21日
文京シビックセンター

石島 柏美

お彼岸の季節とは思えないほど肌寒い日が続いた三月十八日から二十一日まで第十四回柏門会書道展を開催いたしました。元澤柏雪先生の遺墨を一点中央に飾り、そのまわりに私達門弟の作品計二十四点を展示しました。開催にこぎつけるまでは不安でしたが、遺墨が会場にあることにより先生に見守られているように感じられて気持ちが落ちつきました。漢字・仮名・漢字かな交じり書・臨書と様々な書体で作品を作りあげました。悪天候にもかかわらず、連日、大勢の方々に来館していただきました。最終日は小雨の降る寒い日でしたが、平岡不二子先生と高橋香樹先生にご高覧いただき、暖かい励ましのお言葉を賜り、誠に有難く感謝申し上げます。



書庭会創立七十周年記念展

会期 二〇二〇年二月一日（土）～四日（火）

会場 上野の森美術館

展覧会概要

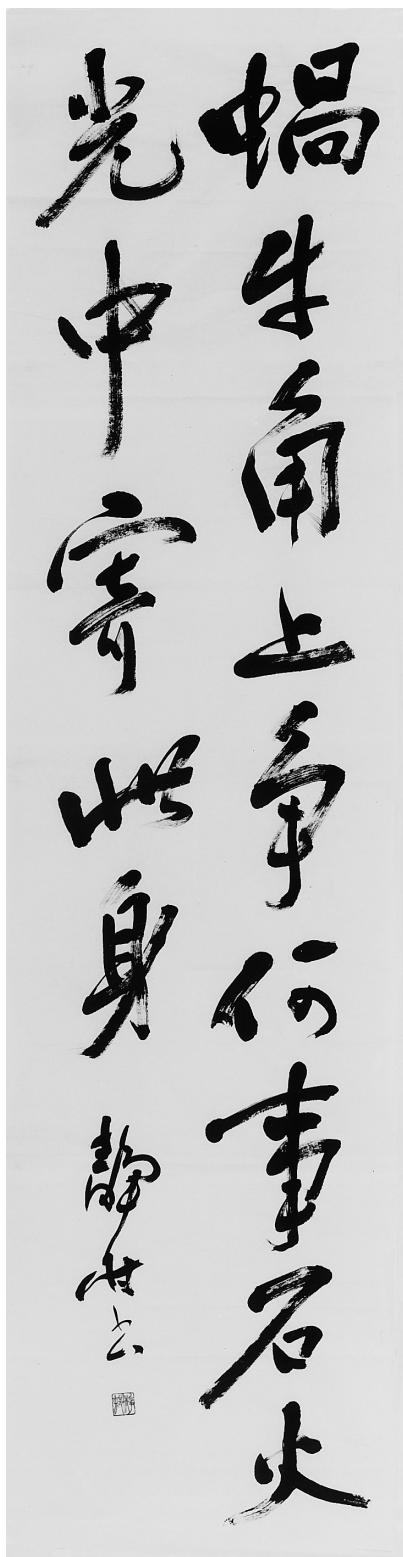
- ・ 全会員中の有志による本格的な展覧会
- ・ 毛筆部・硬筆部（全員展示）
- ・ 毛筆部は準推薦以下、硬筆部は師範以下の昇段級あり
- ・ 学生部（毛筆全員展示・昇段級あり）
- ・ 一般・学生共に優秀作品に賞を授与する

※五月十日までに出品希望者アンケートを返送して下さい。

A

鈴木静村先生書

蝸牛角上争何事 石火光中寄此身 (白楽天)
蝸牛角上何事をか争う、石火光中この身を寄す。



B

高橋香樹会长書

末画が長縦画の場合は、長めに暢ばすことは効果の一つとされています。「牛 中」末筆はハネ出すが、縦画を長めにできる「争 事 寄」等も有り。「牛」と「中」が隣り合うことから、「牛」は草書、「中」は行書で表出。「争 事」は暢ばさずにハネ出し、右行は九文字構成。



今月は、楷書作とした。唐代の楷書のように、起筆での鋒先をきれいに出すというよりも、起筆では、真上から筆をおろし、一呼吸筆を突いてから運筆するというようにし、長画では二呼吸で書くようにした。「争」の六画目の横画は右に出しても可。「此」は古典ではこの形が圧倒的に多い。

訳：世間の人は、蝸牛（かたつむり）の角の上のような小さな世界に生きて、いったい何を争うのか。火打ち石を打って発する火花のようにはかなく、人はこの世に生まれて死ぬ。

予告 (七月二十二日締切)

早起雀聲送喜頻

白魚芳酒寄來珍 (徐夔)

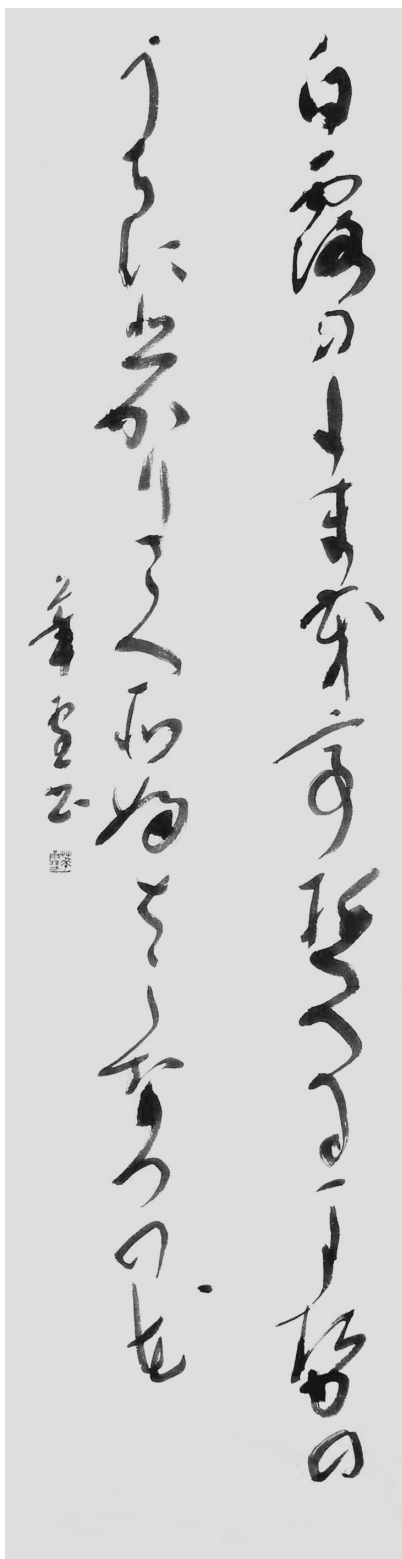
◆注意

- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品 (バーコード券の条漢を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料540円)

A

平岡華雪先生書

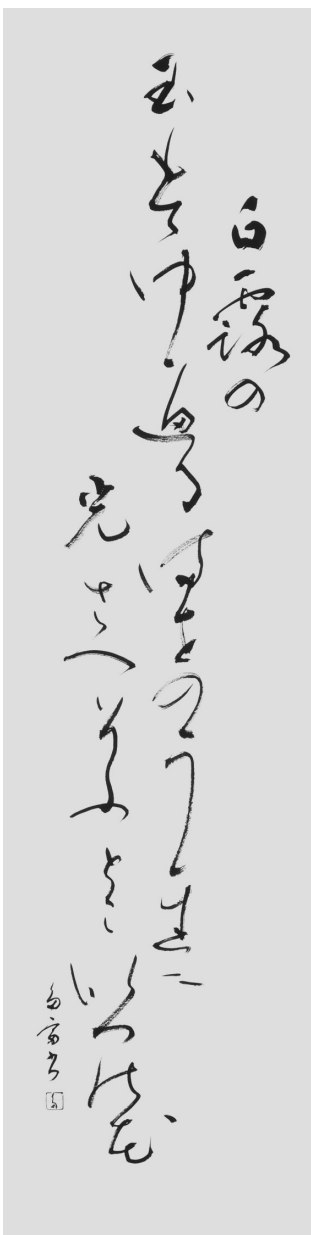
白露の玉もてゆへるませのうちに光さへそふ常夏の花（新古今和歌集 高倉院御歌）
白露の多^た茂^も亭^{てい}遊^{ゆう}へる万^ま勢^{せい}のうちに悲^ひかりさへ所^そ婦^ふとこなつの花



B

森多富先生書

白露の玉もてゆへる満^ま世^せのう遅^ち二^に光^かさへ曾^そふとこ那^なつ能^の花



学び方

今月の和歌は、叙情あふれる景が詠まれています。「常夏の花」とは、撫子の花のこと。「白露の玉」の光と、咲きほこる撫子の花々が目に浮んできます。
Aの華雪先生の作品は、全体にゆったりとおおらかな印象です。書き出しの「白露」を墨量たっぷりの漢字ではじめ、「多茂」へと承け、「亭遊へる」へと軽快な連綿が続いています。二行目前半は仮名ではじまり、後半の「とこなつ」と続き「花」でひきしめて収めています。
B作品は、三行書きにして流れに変化を出しました。「白露の」は墨量多く書きはじめ、二行目につなげて一体感が出るように試みました。

「新古今和歌集」とは、鎌倉時代初期に後鳥羽院の命によって編纂された勅撰和歌集。全二十巻。いわゆる八代集の最後を飾るもの。後鳥羽院自身も歌を親撰するなど深く関わり、何十年にも渡って改訂が続いたという、八代集の中でも稀有な存在。

予告（七月二十二日締切）

はつ蟬の声ぞと聞けばはたと止みて再び鳴かず朝の若葉なり（土岐善麿）

- ◆注意 ・条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条かを○で囲み（1）と記入する。）
- ・二枚目からの出品（バーコード券の条かを○で囲み（ ）に何枚目か数字を記入する。出品料540円）

高橋香樹会長書

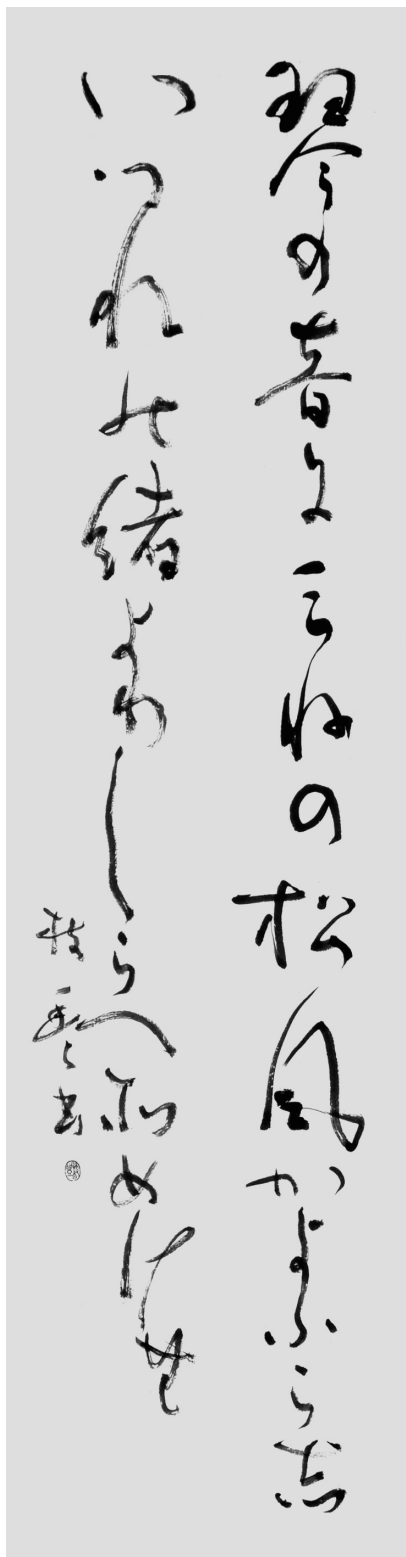
幽径草花聊適趣 閑窓筆硯不留塵（段克己）
幽径の草花聊か趣に適し、閑窓の筆硯塵を留めず



訳：奥深いこみちの草花はいささか風情があり、物静かな窓辺の筆硯は塵一つ留めず清らかである。

鈴木枝豊先生書

ことのねに峰の松風かよふらしいづれの緒よりしらべそめけむ（拾遺和歌集 斎宮女御）
琴の音尔三ねの松風かよふら志い川れ能緒よりしらへ所めけ無

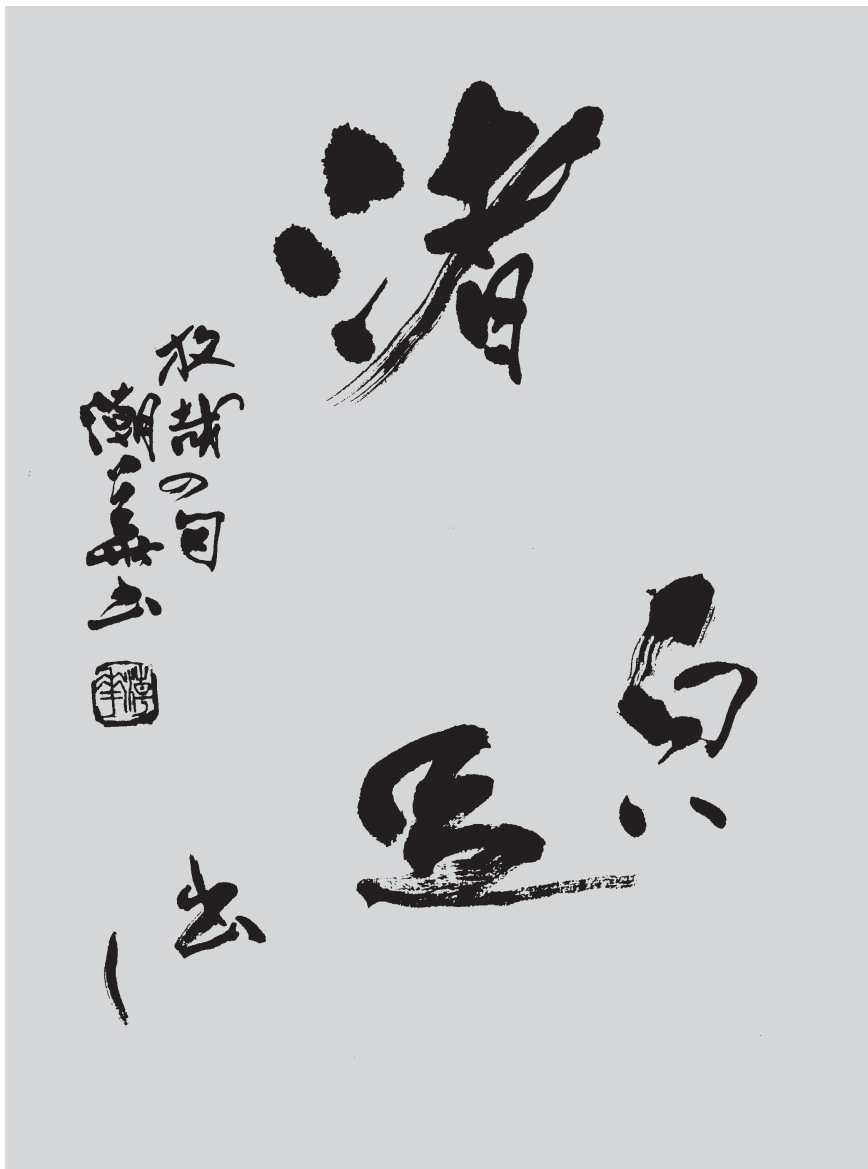


- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条随を○で囲み（1）と記入する。）
 - ・二枚目からの出品（バーコード券の条随を○で囲み（ ）に何枚目か数字を記入する。出品料540円）

水貝潮華先生書

渚白い足出し

尾崎放哉



今月の課題は「少字数作品」です。

文字数が少ないので、思い切った表現が出来る半面、単調で、文字を並べただけの作品になってしまうことがあります。そこが、研究のポイントとなります。私は、紙面を上・下に分割し、上部に「渚」、下部に「白い足出し」を横並びに文字を配置し、タップリと余白を生かした作品にしました。

「漢字かな交じり書」というと、何か特別な表現の書と思われがちですが、漢字・かなの基本を踏まえた表現です。みなさんの思い切った表現を楽しみにしております。

尾崎放哉(一八八五〜一九二六)

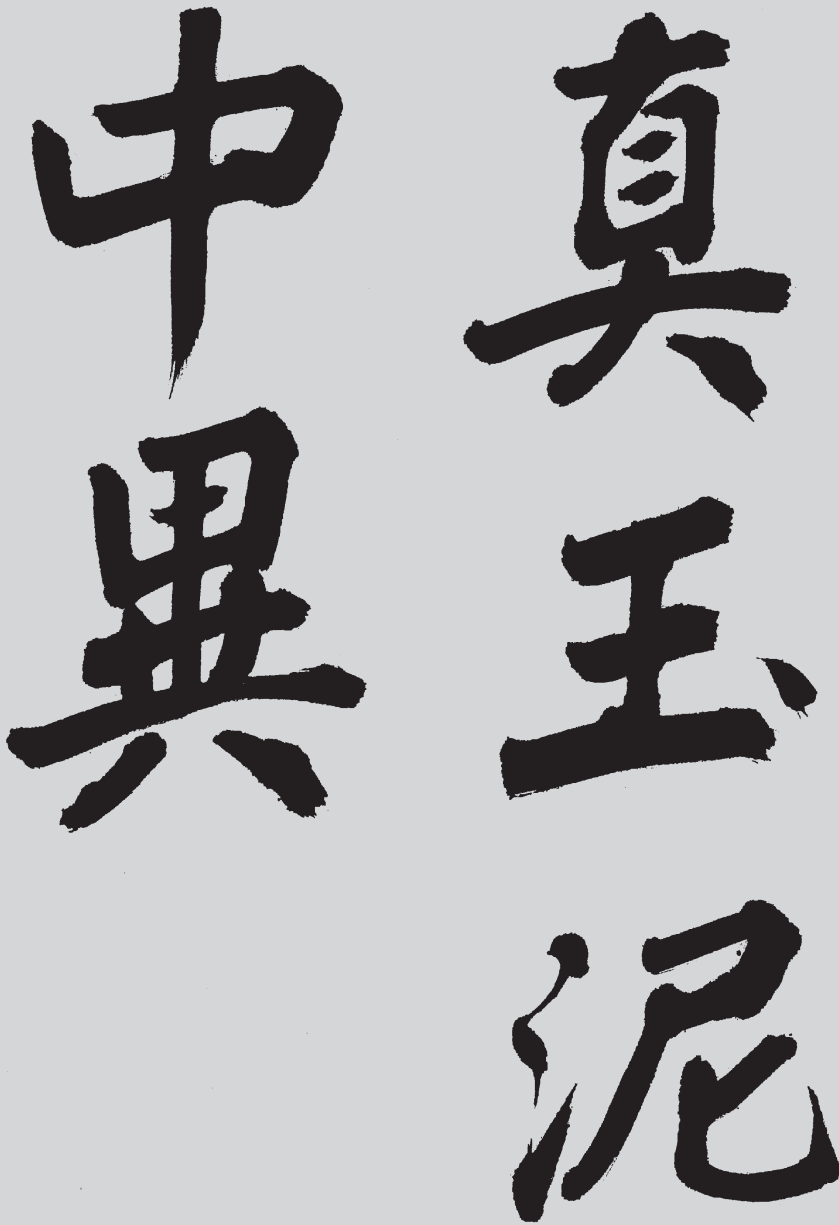
中学時代から俳句・短歌を作る。萩原井泉水の三高俳句会に入会、後に「ホトトギス」に投句。一高・東大法学部を卒業後、実業界に入ったが辞職し、諸所の寺男などをして働き、世捨人の一生を送る。「層雲」によって自由律句の佳句を残す。句集「大空」。

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。出品料540円。

①バーコード券右空欄に漢かと記入 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

平岡華雪先生書

真玉は泥中に異なり(禪林類聚)
訳…名珠は泥中にあっても光を失わない。



〈横画にもいろいろ〉
横画が多い課題。同じ横画にも夫々の
違いがあります。ここが大事な見どころ
です。同時に、打込みも違っています。
特に、初歩の人は学び損って下さい。

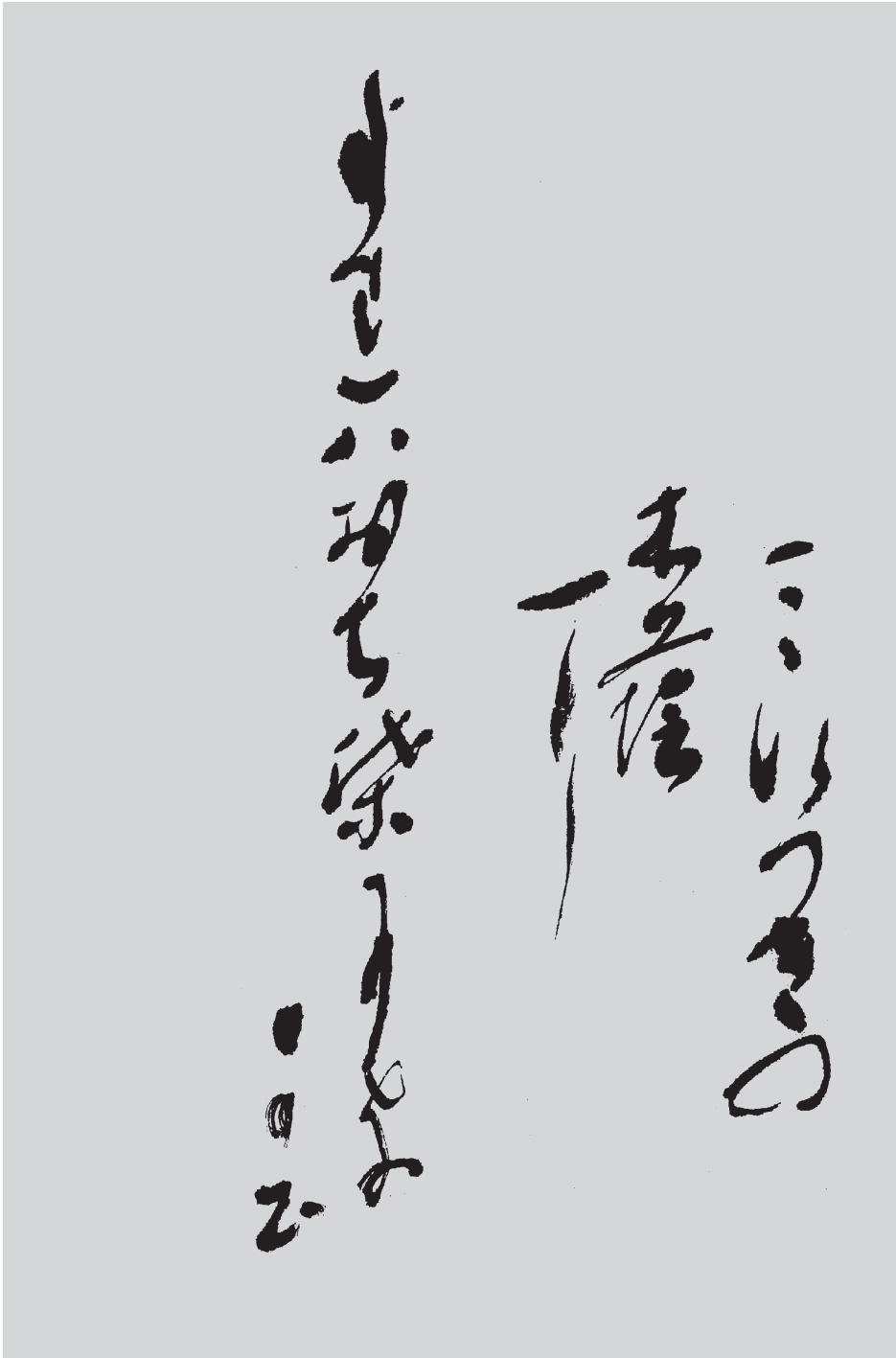


◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は430円。

- ①漢字部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

平岡華雪先生書

水無月の木蔭によれば落葉かな (水巴)
 三那みなつきの木蔭に耳みみよ連れ八はちおち葉か可かな奈



〈効果的表出への工夫〉

右群は細別的には三行構成。二つの行間のとり方に留意のこと。左群が主調。右群との空きは大きく、対応を際立てて効果的に。落款が締めとしてウエート大です。位置、大きさ等に工夫を。

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は430円。

- ①かな部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

高橋紫芳先生書

遠鷗浮水靜（杜甫）
遠鷗えんおうは水みずに浮うかんで静しずかに

遠鷗浮水靜
遠鷗浮水靜
遠鷗浮水靜

紫芳書

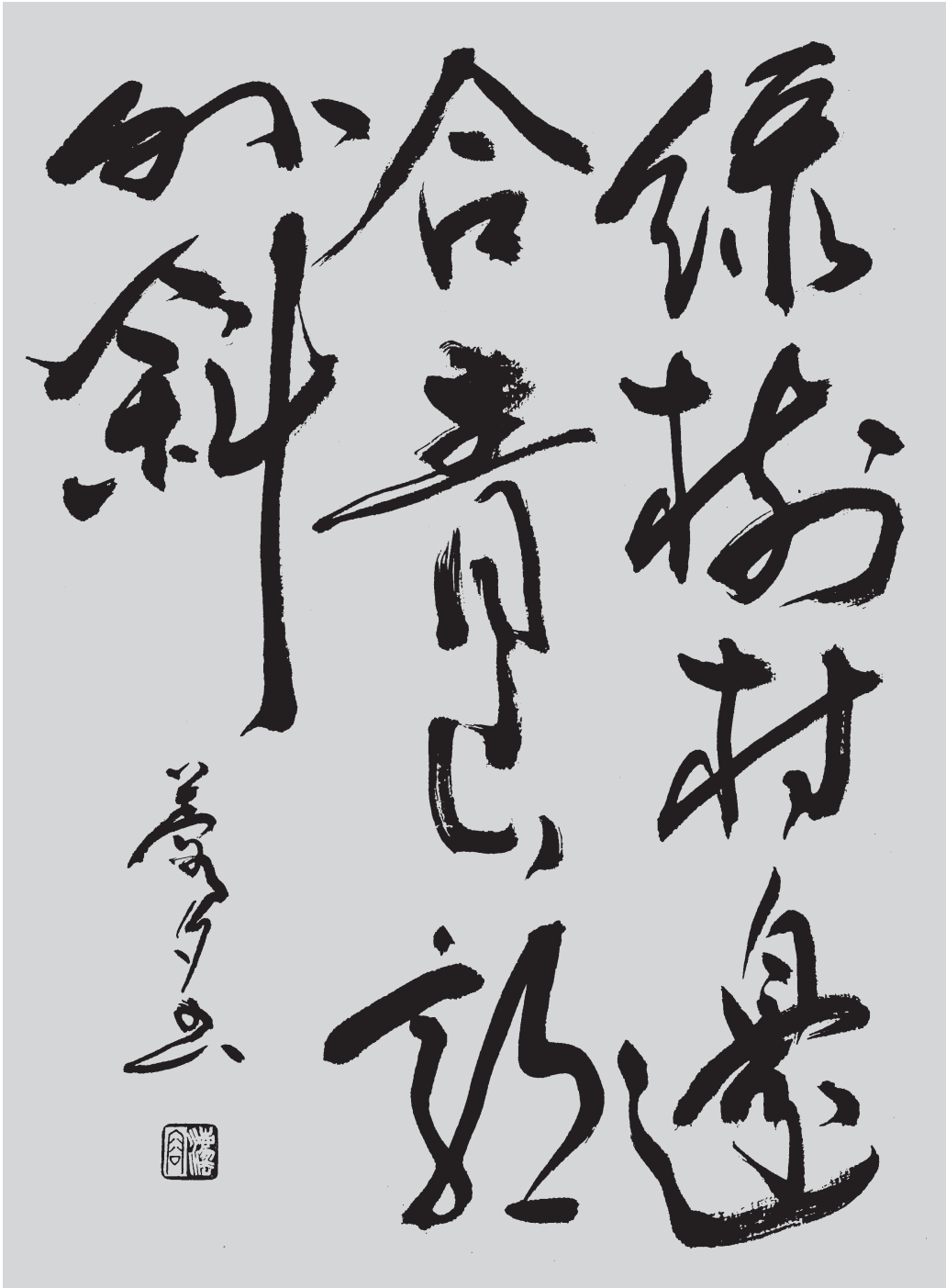

訳：はるかに見えるかもめは、水上に浮かびつつ静かにたゆたい、

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は430円。

随意部参考

佐野蓉夕先生書

緑樹村邊合。青山郭外斜。(孟浩然)
緑樹村邊に合し、青山郭外に斜なり。



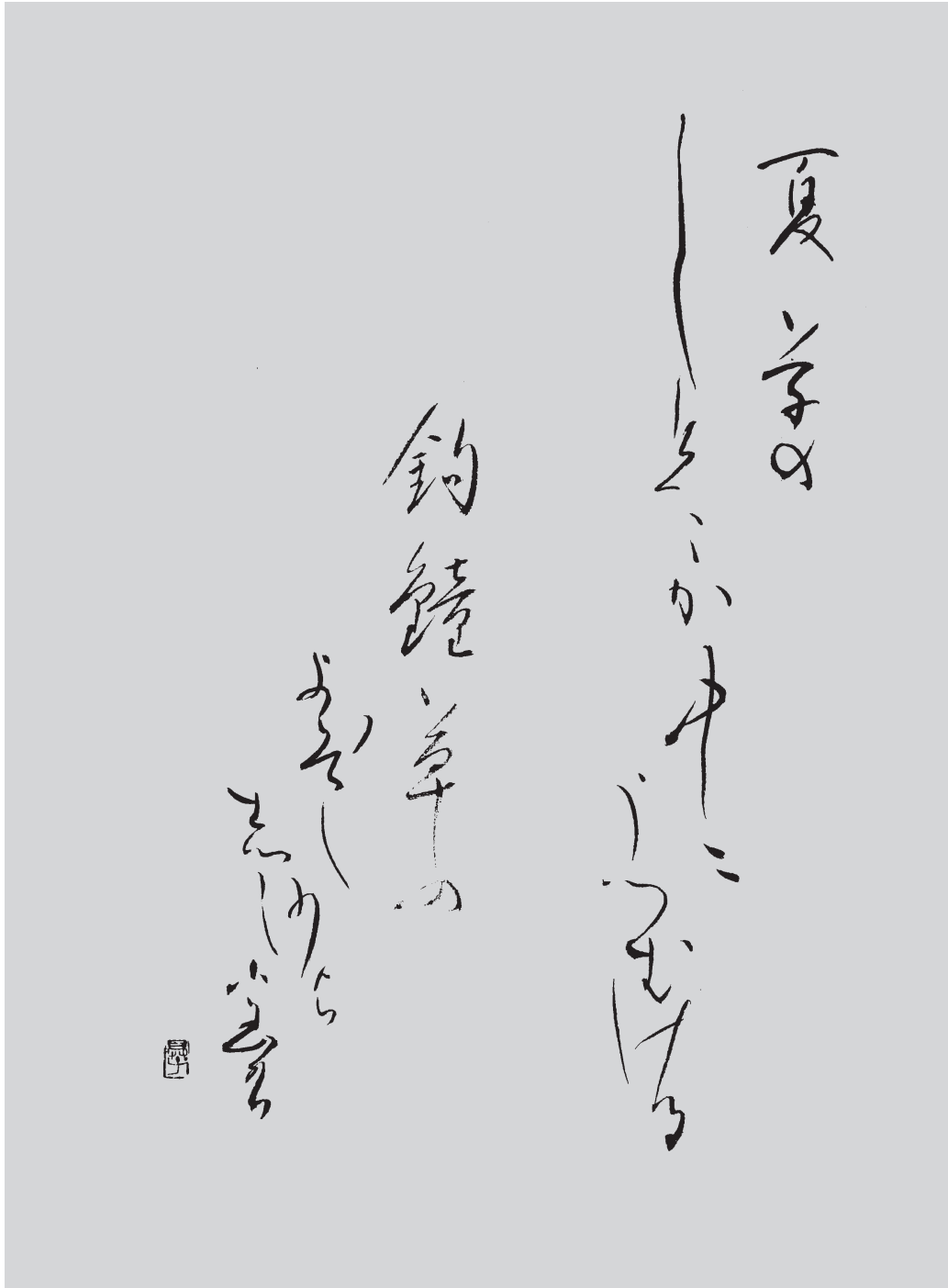
訳：初夏のみどり茂き樹は村のほとりに小暗く見え、青々たる山は村の外を斜にとりまいている。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は430円

随 意 部 参 考

高山小玉先生書

夏草なつくさのしげみがか中なかににうつむける釣鐘草つりかねそうのよそよそしさよ(木下利玄)
夏草なつくさのし介しけみ三なかにか中なかに二なかにうつ川かわむける釣鐘草つりかねそうのよそよそく志沙与しさとよ



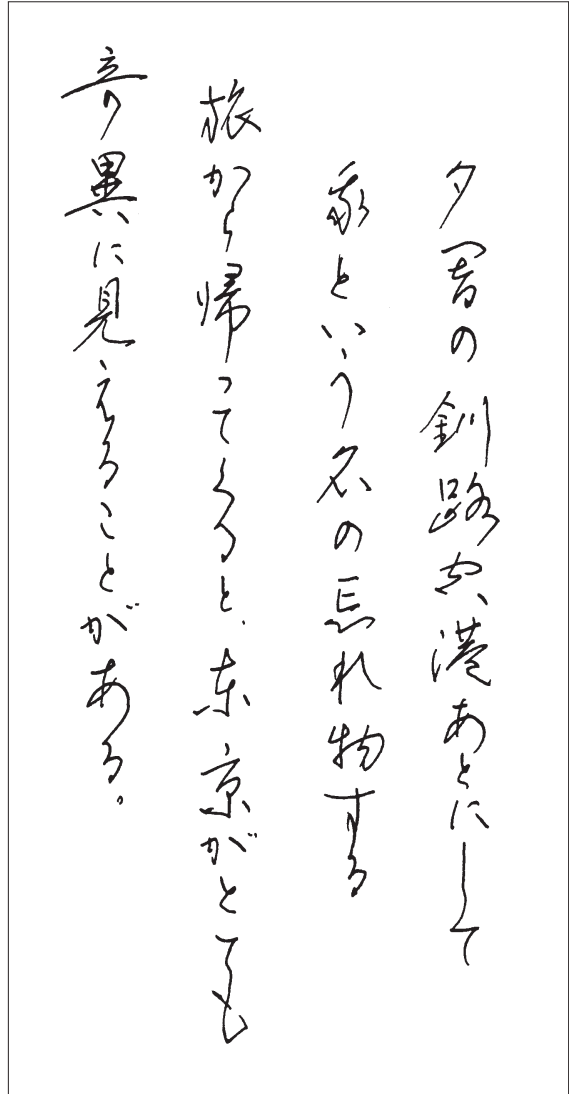
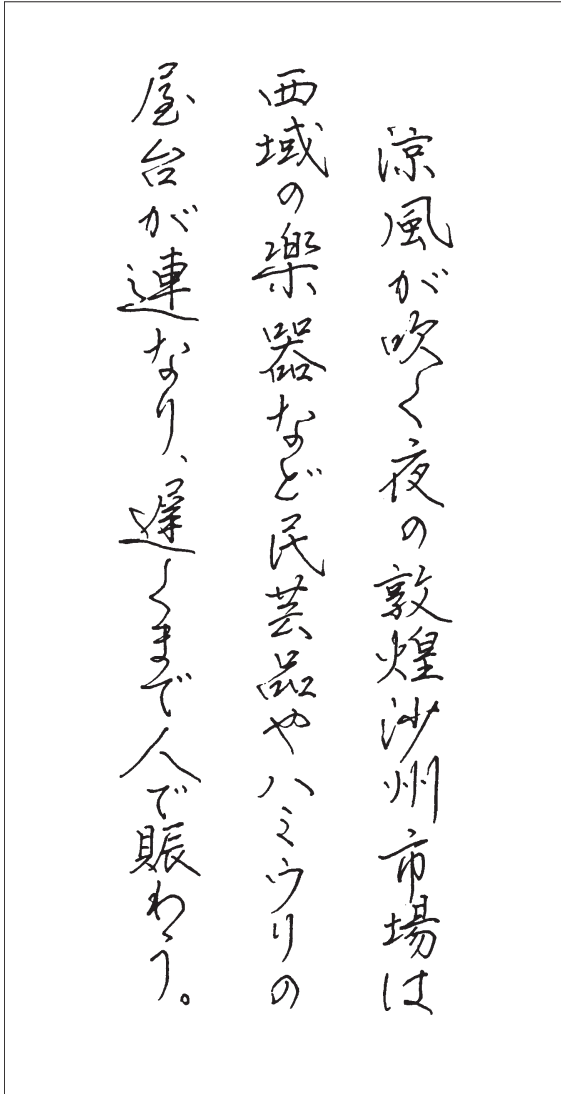
1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は430円

赤木典子先生書

石原春香先生書

課題2 (初段階以下)

課題1 (初段階以上)



課題1 (初段階以上)

夕闇の釧路空港あとにして
我という名の忘れ物する
旅から帰ってくる。東京がとて
も奇異に見えることがある。

「トリアングル」 俵万智

旦那異

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。
- (2) ペンまたはボールペン(黒色)を使用のこと。青インクは不可。
- (3) 段級欄は本人が記入(色は黒)はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位に)次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (5) 会員は無料・会員外は四三〇円

課題2 (初段階以下)

涼風が吹く夜の敦煌沙州市場は西域の楽器など民芸品やハミウリの屋台が連なり、遠くまで人で賑わう。

「シルクロード歴史紀行」 田中信義